

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D5-17
		仕 様		LGP
		適用号機		Z6A00001～
区 分	検 査 箇 所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		
		ハイアイドリング	min ⁻¹	2200
		ローアイドリング	min ⁻¹	850
		トルコンストール状態 （冷却水温）	min ⁻¹ （℃）	1840±50 —
		（作動油温）	（℃）	—
		エンジン油圧	kgf/cm ² KPa	3.2～ 315～
		（油 温） （回転速度）	（℃） （min ⁻¹ ）	（通常運転） （最大回転）
	燃料装置	弁すき間		
		吸気弁 隙間	mm	0.26±0.05
		排気弁 隙間 （測定条件）	mm	0.33±0.05 （冷間時）
動力伝達装置	冷却装置	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 （冷却水温） （回転速度）	kgf/cm ² KPa （℃） （min ⁻¹ ）	3.6 350 （－） （－）
		噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ² KPa	設定なし （コモンレール）
		ファン駆動ベルトの張り	mm	設定なし
		〔測定位置・条件〕		（自動張り調整）
		〔kgとNの両方で表記〕	[N]	
	クラッチペダル又はインチャングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	c m	—
		ペダルの遊びとストローク	c m	—
		ペダルの全ストローク	c m	—
	走行 ミ ク ラ ッ シ ョ ン ・ 油 ト ラン ス	主クラッチ型	MPa	—
		ダイレクトシフト型	kg/cm ² KPa	— —
		流体継ぎ手型	kg/cm ² KPa	— —
		トルコン油圧	kg/cm ² KPa	— —
		ミッション潤滑油圧	kg/cm ² KPa	— —
		クラッチ油圧	kg/cm ² KPa	— —
		（ミッション油温） （エンジン回転速度）	（℃） （min ⁻¹ ）	— —
		プロベラーシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kg・m
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク	c m	—
		レバーの全ストローク	c m	—
	ステアリングクラッチ油圧		MPa	—
	（油 温） （回転速度）		kg/cm ² （℃） （r p m）	—

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D5-17			
		仕様		LGP			
		適用号機		Z6A00001～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
走行装置	クローラベルト	ベ ル ト コ ム	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—		
			鉄 シ ユ ー	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	図2参照	
		リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)		mm	—		
		履板取付ボルト 締付けトルク 測定方法・条件		N・m kg・m	400±70 40.8±7.1		
		制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5以上	—	
作業装置	シ リ ン ダ ー 自 然 伸 縮		ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) リッパースリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) リッパースャックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分 mm/分 mm/分 mm/分	32mm/5分 地面から254mm 13mm/5分 チルト左一杯 — —	
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分 mm/分	—		
		(作動油温)		(℃)	38-49℃		
		作 業 機 速 度	ブルドーザー	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) リッパシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒 秒	2.7±0.2秒 地面～最大 —	
			ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒 秒	—	
	(作動油温)		(℃)	65±5			
	油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² MPa (℃)	255±1 25.0±0.1 (38～65)		
		備考					

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
図 1．履帯調整方法	1．車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2．バルブ・カバーを外す。（図は開けた状態） 3．トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ（2）を閉めてください。 5．バルブ・カバーを閉じる。 6．反対側の履帯に同様の作業を行う。 